

[法15条の2の3]

産業廃棄物処理施設維持管理記録簿[焼却施設](令和2年2月度)

対象期間: 令和2年 2月 1日～令和2年 2月 29日

焼却した産業廃棄物の種類及び数量

種類	数量(単位)
産業廃棄物	
燃えがら	43.49 ( トン /月)
汚泥(有機性)	221.48 ( トン /月)
廃油	62.50 ( トン /月)
廃プラスチック(軟質系)	505.54 ( トン /月)
廃プラスチック(硬質系)	10.60 ( トン /月)
汚れ廃プラスチック	100.43 ( トン /月)
廃発泡スチロール	1.30 ( トン /月)
紙くず	5.41 ( トン /月)
木くず	44.15 ( トン /月)
繊維くず	51.12 ( トン /月)
動植物性残渣	6.66 ( トン /月)
ガラス・コンクリート・陶磁器くず	0.12 ( トン /月)
廃酸	0.32 ( トン /月)
特別管理産業廃棄物	
感染性	20.18 ( トン /月)
一般廃棄物	
可燃ごみ	266.08 ( トン /月)
合計	1,339.38 ( トン /月)

燃焼ガス及び排ガスの分析の実施状況と措置(連続測定記録)

	燃焼ガス温度	集じん器流入ガス温度	排ガス中一酸化炭素濃度	溶融炉内の温度
測定位置	1,2号炉二次燃焼室	1,2号炉バグフィルター	1,2号炉煙道	二次燃焼室
測定結果が得られた年月日	別紙	別紙	別紙	別紙
測定結果	別紙	別紙	別紙	別紙

※別紙は事務所内に保管。

ばいじんの除去をおこなった年月日

2月14日	-	-	-	-
-------	---	---	---	---

煙突から排出される当該排ガスの分析の実施状況と措置

	ダイオキシン類濃度	硫酸酸化物	ばいじん	塩化水素	窒素酸化物
排ガス採取位置	1号炉煙道				
排ガスの採取日	2月26日	2月26日	2月26日	2月26日	2月26日
測定結果が得られた年月日	3月24日	3月24日	3月24日	3月24日	3月24日
測定結果	0.00011ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	36ppm	ND	27ppm	56ppm
排ガス採取位置	-				
排ガスの採取日	-	-	-	-	-
測定結果が得られた年月日	-	-	-	-	-
測定結果	-	-	-	-	-

※ ND: 定量下限値未満

※ ○煙突から排出される排ガス中のダイオキシン類の濃度測定・・・毎年1回以上

○ばい煙量又はばい煙濃度(硫酸酸化物、ばいじん、塩化水素および窒素酸化物に係るものに限る)を6月に1回以上測定

中間処理施設からの廃棄物(処理委託分)

種類	委託先	処理方法	数量(t)
ばいじん(飛灰)	(株)九州産廃処理センター	安定化	37.94
ばいじん(飛灰)	三池製錬(株)	山元還元	13.13

溶融スラグ発生量

数量(t)
113.15

[法15条の2の3]

産業廃棄物処理施設維持管理記録簿[焼却施設] (令和2年1月度)

対象期間:令和2年 1月 1日～令和2年 1月 31日

焼却した産業廃棄物の種類及び数量

種類	数量(単位)
産業廃棄物	
燃えがら	47.32 ( トン /月)
汚泥(有機性)	127.50 ( トン /月)
廃油	64.98 ( トン /月)
廃プラスチック(軟質系)	411.55 ( トン /月)
廃プラスチック(硬質系)	0.06 ( トン /月)
汚れ廃プラスチック	94.99 ( トン /月)
廃発泡スチロール	1.75 ( トン /月)
紙くず	8.86 ( トン /月)
木くず	24.28 ( トン /月)
繊維くず	49.58 ( トン /月)
動植物性残渣	11.01 ( トン /月)
ガラス・コンクリート・陶磁器くず	0.23 ( トン /月)
廃酸	0.27 ( トン /月)
特別管理産業廃棄物	
感染性	21.60 ( トン /月)
一般廃棄物	
可燃ごみ	843.37 ( トン /月)
合計	1,707.35 ( トン /月)

燃焼ガス及び排ガスの分析の実施状況と措置(連続測定記録)

	燃焼ガス温度	集じん器流入ガス温度	排ガス中一酸化炭素濃度	熔融炉内の温度
測定位置	1,2号炉二次燃焼室	1,2号炉バグフィルター	1,2号炉煙道	二次燃焼室
測定結果が得られた年月日	別紙	別紙	別紙	別紙
測定結果	別紙	別紙	別紙	別紙

※別紙は事務所内に保管。

ばいじんの除去をおこなった年月日

1月27日	1月31日	-	-	-
-------	-------	---	---	---

煙突から排出される当該排ガスの分析の実施状況と措置

	ダイオキシン類濃度	硫黄酸化物	ばいじん	塩化水素	窒素酸化物
排ガス採取位置	2号炉煙道				
排ガスの採取日	-	1月15日	1月15日	1月15日	1月15日
測定結果が得られた年月日	-	2月3日	2月3日	2月3日	2月3日
測定結果	-	10ppm	ND	13ppm	52ppm
排ガス採取位置	-				
排ガスの採取日	-	-	-	-	-
測定結果が得られた年月日	-	-	-	-	-
測定結果	-	-	-	-	-

※ ND: 定量下限値未満

※ ○煙突から排出される排ガス中のダイオキシン類の濃度測定・・・毎年1回以上

○ばい煙量又はばい煙濃度(硫黄酸化物、ばいじん、塩化水素および窒素酸化物に係るものに限る)を6月に1回以上測定

中間処理施設からの廃棄物(処理委託分)

種類	委託先	処理方法	数量(t)
ばいじん(飛灰)	(株)九州産廃処理センター	安定化	60.19
ばいじん(飛灰)	三池製錬(株)	山元還元	25.80

熔融スラグ発生量

数量(t)
184.59

[法15条の2の3]

産業廃棄物処理施設維持管理記録簿[焼却施設] (令和元年12月度)

対象期間: 令和元年 12月 1日～令和元年 12月 31日

焼却した産業廃棄物の種類及び数量

種類	数量(単位)
産業廃棄物	
燃えがら	38.62 ( トン /月)
汚泥(有機性)	135.18 ( トン /月)
廃油	68.53 ( トン /月)
廃プラスチック(軟質系)	311.53 ( トン /月)
廃プラスチック(硬質系)	0.08 ( トン /月)
汚れ廃プラスチック	60.15 ( トン /月)
廃発泡スチロール	0.49 ( トン /月)
紙くず	4.63 ( トン /月)
木くず	4.44 ( トン /月)
繊維くず	6.37 ( トン /月)
動植物性残渣	10.77 ( トン /月)
ガラス・コンクリート・陶磁器くず	0.14 ( トン /月)
廃酸	0.28 ( トン /月)
特別管理産業廃棄物	
感染性	12.78 ( トン /月)
一般廃棄物	
可燃ごみ	859.40 ( トン /月)
合計	1,513.39 ( トン /月)

燃焼ガス及び排ガスの分析の実施状況と措置(連続測定記録)

	燃焼ガス温度	集じん器流入ガス温度	排ガス中一酸化炭素濃度	熔融炉内の温度
測定位置	1.2号炉二次燃焼室	1.2号炉バグフィルター	1.2号炉煙道	-
測定結果が得られた年月日	別紙	別紙	別紙	-
測定結果	別紙	別紙	別紙	-

※別紙は事務所内に保管。

ばいじんの除去をおこなった年月日

12月5日	-	-	-	-
-------	---	---	---	---

煙突から排出される当該排ガスの分析の実施状況と措置

	ダイオキシン類濃度	硫黄酸化物	ばいじん	塩化水素	窒素酸化物
排ガス採取位置	1号炉煙道				
排ガスの採取日	-	12月3日	12月3日	12月3日	12月3日
測定結果が得られた年月日	-	1月10日	1月10日	1月10日	1月10日
測定結果	-	ND	ND	ND	65ppm
排ガス採取位置	-				
排ガスの採取日	-	-	-	-	-
測定結果が得られた年月日	-	-	-	-	-
測定結果	-	-	-	-	-

※ ND: 定量下限値未満

※ ○煙突から排出される排ガス中のダイオキシン類の濃度測定・・・毎年1回以上

○ばい煙量又はばい煙濃度(硫黄酸化物、ばいじん、塩化水素および窒素酸化物に係るものに限る)を6月に1回以上測定

中間処理施設からの廃棄物(処理委託分)

種類	委託先	処理方法	数量(t)
ばいじん(飛灰)	(株)九州産廃処理センター	安定化	33.46
ばいじん(飛灰)	三池製錬(株)	山元還元	7.59

熔融スラグ発生量

数量(t)
0

[法15条の2の3]

産業廃棄物処理施設維持管理記録簿[焼却施設] (令和元年11月度)

対象期間: 令和元年 11月 1日～令和元年 11月 30日

焼却した産業廃棄物の種類及び数量

種類	数量(単位)
産業廃棄物	
燃えがら	36.27 ( トン /月)
汚泥(有機性)	235.32 ( トン /月)
廃油	46.07 ( トン /月)
廃プラスチック(軟質系)	403.08 ( トン /月)
廃プラスチック(硬質系)	2.45 ( トン /月)
汚れ廃プラスチック	81.47 ( トン /月)
廃発泡スチロール	0.74 ( トン /月)
紙くず	5.35 ( トン /月)
木くず	21.05 ( トン /月)
繊維くず	50.18 ( トン /月)
動植物性残渣	19.63 ( トン /月)
ガラス・コンクリート・陶磁器くず	10.56 ( トン /月)
廃酸	0.40 ( トン /月)
特別管理産業廃棄物	
感染性	20.24 ( トン /月)
一般廃棄物	
可燃ごみ	936.81 ( トン /月)
合計	1,869.62 ( トン /月)

燃焼ガス及び排ガスの分析の実施状況と措置(連続測定記録)

	燃焼ガス温度	集じん器流入ガス温度	排ガス中一酸化炭素濃度	熔融炉内の温度
測定位置	1,2号炉二次燃焼室	1,2号炉バグフィルター	1,2号炉煙道	二次燃焼室
測定結果が得られた年月日	別紙	別紙	別紙	別紙
測定結果	別紙	別紙	別紙	別紙

※別紙は事務所内に保管。

ばいじんの除去をおこなった年月日

11月12日	-	-	-	-
--------	---	---	---	---

煙突から排出される当該排ガスの分析の実施状況と措置

	ダイオキシン類濃度	硫黄酸化物	ばいじん	塩化水素	窒素酸化物
排ガス採取位置	2号炉煙道				
排ガスの採取日	11月19日	11月19日	11月19日	11月19日	11月19日
測定結果が得られた年月日	12月17日	12月17日	12月17日	12月17日	12月17日
測定結果	0.00019ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	ND	ND	13ppm	50ppm
排ガス採取位置	-				
排ガスの採取日	-	-	-	-	-
測定結果が得られた年月日	-	-	-	-	-
測定結果	-	-	-	-	-

※ ND: 定量下限値未満

※ ○煙突から排出される排ガス中のダイオキシン類の濃度測定・・・毎年1回以上

○ばい煙量又はばい煙濃度(硫黄酸化物、ばいじん、塩化水素および窒素酸化物に係るものに限る)を6月に1回以上測定

中間処理施設からの廃棄物(処理委託分)

種類	委託先	処理方法	数量(t)
ばいじん(飛灰)	(株)九州産廃処理センター	安定化	74.78
ばいじん(飛灰)	三池製錬(株)	山元還元	13.11

熔融スラグ発生量

数量(t)
186.03

[法15条の2の3]

産業廃棄物処理施設維持管理記録簿[焼却施設] (令和元年10月度)

対象期間: 令和元年 10月 1日～令和元年 10月 31日

焼却した産業廃棄物の種類及び数量

種類	数量(単位)
産業廃棄物	
燃えがら	29.68 ( トン /月)
汚泥(有機性)	129.50 ( トン /月)
廃油	47.02 ( トン /月)
廃プラスチック(軟質系)	360.33 ( トン /月)
廃プラスチック(硬質系)	5.53 ( トン /月)
汚れ廃プラスチック	77.23 ( トン /月)
廃発泡スチロール	0.22 ( トン /月)
紙くず	7.66 ( トン /月)
木くず	19.62 ( トン /月)
繊維くず	18.87 ( トン /月)
動植物性残渣	9.83 ( トン /月)
ガラス・コンクリート・陶磁器くず	0.19 ( トン /月)
廃酸	0.47 ( トン /月)
特別管理産業廃棄物	
感染性	21.22 ( トン /月)
一般廃棄物	
可燃ごみ	1288.51 ( トン /月)
合計	2,015.88 ( トン /月)

燃焼ガス及び排ガスの分析の実施状況と措置(連続測定記録)

	燃焼ガス温度	集じん器流入ガス温度	排ガス中一酸化炭素濃度	熔融炉内の温度
測定位置	1,2号炉二次燃焼室	1,2号炉バグフィルター	1,2号炉煙道	二次燃焼室
測定結果が得られた年月日	別紙	別紙	別紙	別紙
測定結果	別紙	別紙	別紙	別紙

※別紙は事務所内に保管。

ばいじんの除去をおこなった年月日

10月1日	10月2日	10月24日	-	-

煙突から排出される当該排ガスの分析の実施状況と措置

	ダイオキシン類濃度	硫酸酸化物	ばいじん	塩化水素	窒素酸化物
排ガス採取位置	-				
排ガスの採取日	-	-	-	-	-
測定結果が得られた年月日	-	-	-	-	-
測定結果	-	-	-	-	-
排ガス採取位置	-				
排ガスの採取日	-	-	-	-	-
測定結果が得られた年月日	-	-	-	-	-
測定結果	-	-	-	-	-

※ ND: 定量下限値未満

※ ○煙突から排出される排ガス中のダイオキシン類の濃度測定・・・毎年1回以上

○ばい煙量又はばい煙濃度(硫酸酸化物、ばいじん、塩化水素および窒素酸化物に係るものに限る)を6月に1回以上測定

中間処理施設からの廃棄物(処理委託分)

種類	委託先	処理方法	数量(t)
ばいじん(飛灰)	(株)九州産廃処理センター	安定化	56.54
ばいじん(飛灰)	三池製錬(株)	山元還元	13.10

熔融スラグ発生量

数量(t)
163.09